

バックボーンとしての民主主義

人間集団の歴史は、民主主義(人間の尊厳)をめぐる歴史であり、必ずしも民主主義(人間の尊厳)が勝利するとは、限りません。

それは、①欲望性、②動物性を抱えた、生身の人間集団の歴史だからです。

水俣病の歴史を裏から見れば

公式確認(1956)から63年経った今も完全救済されずにいる原因には、その動きを阻む人間の欲望があります。

バックボーンに、民主主義(人間の尊厳)が無かったことです。帰属集団の利益を優先させることで、民主主義(人間の尊厳)が、二の次にされてきたからです。

水俣はチツソの企業町でした。議会は、企業の息掛かり議会となり、行政はもちろん、労組は分断され、医師会は黙殺し、大学も沈黙したのです。住民も又そうです。

民主主義(人間の尊厳)より個人の利益を、優先し無視する。その決断が、被害者に苦渋を舐めさせてきたと言えます。

いつまでも勝てない野党

野党が力を結集しきれず、希望を灯せないのは、自己利益・所属集団の利益に埋没し、民主主義(人間の尊厳)を後列に置く姿勢が見え隠れするからです。

民主主義(人間の尊厳)をバックボーンにおいてこそ、問題は解決します。

////////////////////////////////////
主なメチル水銀中毒症の集団発生(1940 イギリス~1971 イラク)

水俣病(みなまたびょう)とは、メチル水銀化合物(有機水銀)による中毒性中枢神経系疾患のうち、産業活動が発生源となり、同物質が環境に排出され、食物連鎖によってヒトが経口摂取して集団発生した場合に言う。

1956年(昭和31年)5月1日に熊本県水俣市にて公式発見され、1957年(昭和32年)に発生地の名称から命名された。その後、類似の公害病にも命名されている。…ウキペディアより

////////////////////////////////////